



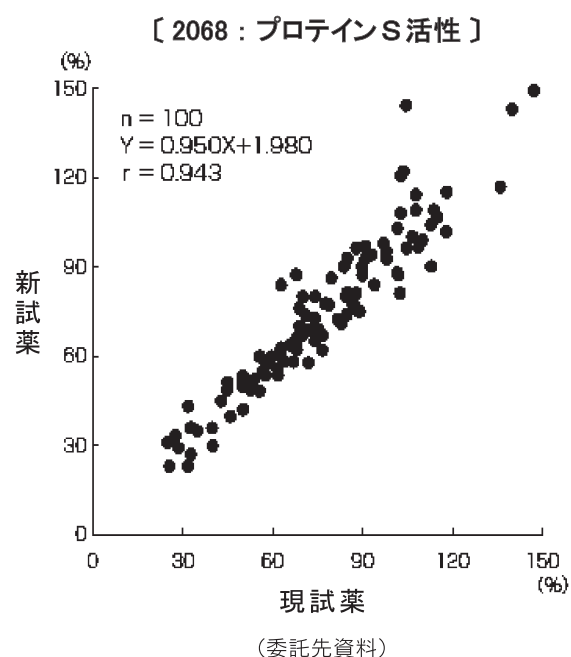
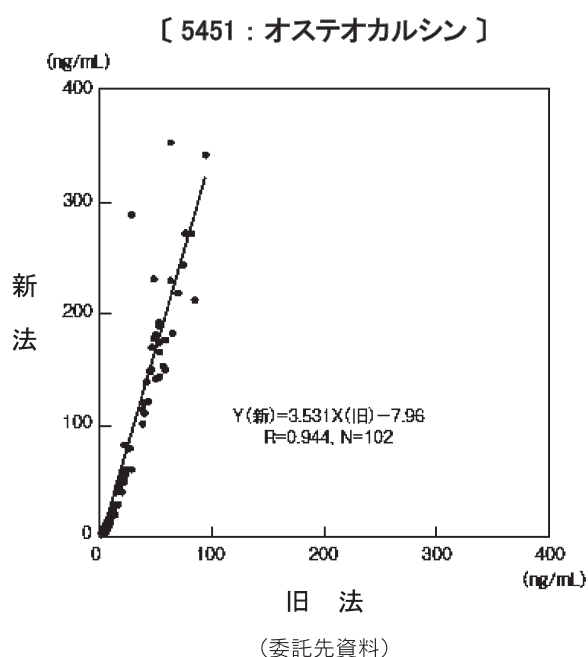
平成 28 年 3 月

新潟臨床検査センター
保健科学東日本
日本ノーバメディカル研究所
い　か　が　く
組　織　科　学　研　究　所
ケーアイー細胞病理研究所
カスタムメディカル研究所

平成28年3月31日(木) 受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	検査案内書掲載ページ
5034	総エストロゲン (非妊婦)	所要日数	9～23日	9～17日	所要日数見直しに伴う変更です。	33
5023	セロトニン (全血)	基準値 (単位)	52.8～200 ng/mL	53～200 ng/mL	基準値桁数見直しに伴う変更です。	36
5320	セロトニン (多血小板血漿)	基準値 (単位)	623以下 ng/mL	620以下 ng/mL		
5451	オステオカルシン (BGP)	検査方法	FEIA法	IRMA法 (ビーズ固相法)	測定試薬変更に伴う検査内容の変更です。	37
		基準値 (単位)	8.3～32.7 ng/mL	3.1～12.7 ng/mL		
		報告下限 (単位)	0.5未満 ng/mL	1.0未満 ng/mL		
		所要日数	4～8日	4～9日		
2068	プロテインS活性	検体必要量	血漿0.4mL	血漿0.3mL	測定機器および測定試薬変更に伴う検査内容の変更です。基準値はメーカー設定値です。	103
		検査方法	凝固時間法	APTT凝固時間法		
		基準値 (単位)	M: 67～164 F: 56～126 %	60～150 %		
		所要日数	4～8日	4～9日		
		報告範囲	10未満、10～299、300以上	10以下、11～299、300以上		

▼ 現試薬と新試薬の比較



▼ 検査方法参考文献

戸来 孝, 他: 日本臨床検査自動化学会会誌 40: 52-57, 2015. (オステオカルシン)